

平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	女性対象コース		
事業名	女性向け再就職支援 PC スキルアップ訓練講座		
法人名	学校法人湘南ふれあい学園		
学校名	総合電子専門学校		
代表者	学校長 鈴木 洋一	担当者 連絡先	八巻 祐治 042-744-9711
1. 事業の目的			
<p>現在、事務職はもちろん、多くの職種においてパソコン操作に関するスキルは、必須のものとなっている。</p> <p>子育て等によりキャリア形成を中断せざるを得なかった女性にとっては、初級程度のスキルでは再就職に有利とは言うことができない。そこで、表計算とデータベースに絞り込んだ、職業能力を向上させるための大幅なレベルアップ講座を実施する。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）			
<p>実施期間：12月14日～2月26日（6時間×45日間）</p> <p>講習内容：</p> <p>① パソコン基礎（3日間）：各種基本設定及び効率的ファイル管理</p> <p>② Excel（14日間）：入力・編集・保存・印刷の各種基本機能の復習、各種関数、グラフ作成、ブック操作、マクロ機能、Microsoft Office Specialist 試験対策等</p> <p>③ Access（15日間）：データベース設計、テーブル、クエリ、レポート、宛名ラベル印刷、Microsoft Office Specialist 試験対策</p> <p>④ インターネット（2日間）：ブラウザソフト・PDF・電子メール基本操作設定・ビジネスメール及びセキュリティ</p> <p>⑤ 就職支援セミナー（3日間）：キャリアカウンセリング、履歴書・職務経歴書の書き方、面接の受け方、就職情報の提供</p> <p>就職状況追跡調査：講座終了後3ヶ月間</p>			
②受講者の募集方法（手法・期間・効果）			
<p>受講生募集にあたっては主に下記の方法を用いて行った。</p> <p>■パンフレット作成（11月1日～10日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A3判2つ折り 1500部、ポスター100部を作成した。</li> </ul> <p>■パンフレット/ポスター配布（8月16日～100箇所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相模原市総合学習センターを通じ、市内公民館等の施設へ配布</li> </ul>			

- ・近隣ハローワーク（公共職業安定所）、マザーズハローワークに配布
- ・近隣幼稚園と保育園に配布
- ・保有名簿により、DM600 通郵送
- 新聞折込広告への掲載（日曜折込求人広告、11月29日号、12月6日号）
- Web の利用
- ・本校ホームページに掲載（<http://www.soden.ac.jp/>）
- ・町田タウンガイド「mappy」（町田商工会議所主催）（<http://www.mappy.jp>）

応募状況は定員 30 名のところ、23 名応募があり、面接及び入カスキルチェックにて選考を行った。再就職への意欲を第一に選考した結果、20 名を受講対象者とした。（合格後辞退 2 名発生した）

### ③受講者の状況

受講生の内訳は下記の通りである。

- ① 性別：女性 18 名
  - ② 年齢層：40 代 8 名/30 代 7 名/50 代 2 名/20 代 1 名
  - ③ 子供の数：1 人 8 名/2 人 7 名/3 人 3 名
  - ④ 末子の年齢：7-9 歳 8 名/3 歳以下 3 名/4-6 歳 3 名
  - ⑤ 託児先：託児先不要または学校などその他 13 名/学童 4 名/親戚・家族 3 名/延長保育 3 名/認可外保育室 1 名
  - ⑥ 前職の職種：事務職 13 名/教育機関 3 名/医療事務 1 名/その他 1 名
  - ⑦ 前職の退職理由：結婚 8 名/会社都合 5 名/出産 3 名/自己都合 1 名/夫の転勤 1 名
  - ⑧ 再就職理由：経済的理由 7 名/自身の社会復帰 7 名/末子の成長 6 名
- いずれも受講開始時点では定職についておらず、無職またはボランティアなどに従事しているとのことであった。

### ④受講者の意識調査等

講座終了時のアンケート調査において

パソコン講座の満足度は 5, 4（5 段階評価）で 90%

就職支援セミナーは 5, 4 で 80%、企業実務講座は 5, 4 で 70% の評価を得た。

もともと職場復帰を目指して、スキルアップを希望し、無料のパソコン講座を探していた受講生が多く、就職意欲も他の講座と比べても非常に高かった。

就職セミナーについては、多くの受講生が開講中に採用試験を受け、その際実践的で大変役に立ったという評価を得た。

総じて、「就職への環境は整ったか」との質問については 1 名を除いた 17 名から準備が整ったとの回答があった。

### ⑤受講後の状況（修了者数・就職率）

受講生 18 名全員が規定の出席時間数に達したため、修了証を交付した。修了者の全てが就職希望であり、8 名の方が再就職が決定している。その他、活動中の方が 9 名、1 名が再度スキルアップのため、進学を検討中である。

### 3. 事業の評価に関する項目

#### ①当初目的の達成状況

仕事から離れ、ブランクのある女性にとって、単にパソコンが使えるというレベルではなく、具体的にどのレベルをマスターしているかを差別化して自信をもって再就職に臨む体制作りができた。

また、就職支援セミナーによって、さらにエンプロイアビリティスキル（雇用され得る能力）を多方面からレベルアップできた点により、女性が社会復帰をするためのスキルアップ講座としての使命は充分果たすことができたといえる

#### ②事業の成果及び改善点

今回の講座は授業時間（9:25～15:50）が、就職した場合の時間帯を想定して組まれたものであり、受講生の中には家族を送り出してから通学する人も多く見受けられ、結果的に社会復帰の一步であったという声が聞かれた。特に乳幼児、児童を抱える母親は授業時間中、誰が子供の世話をするかについて、就職した際のシュミレーションとなったようであった。乳幼児に関しては、保育がもっとも高い関心事であり、その体制の強化が改めて望まれる結果となった。

#### ③次年度以降における課題・展開

スキルのレベルを履歴書に記入できるよう、Microsoft 社の MOS（Excel）資格取得をカリキュラムに入れたところ、非常に好評で熱心に対策授業に取り組み、受験者全員が合格した。受験料が高価なことから、1科目のみの受験対策をであったが、受講生たちは難関の Access の受験も希望するまでになった。受講期間が 45 日であり、時間的制約があること、受験料が高額（12,000 円程度）なこと等で、今後全科目に受験対策授業を実施するかは一考を要する。

2月に神奈川県内の公務の4月人事採用募集が行われ、受講生の多くが関心を示し、応募した。採用試験には授業を欠席せざるを得ない場合があり、この時期多くの募集があることより、授業は2月中旬前に終了することが望ましい結果となった。

#### ④成果の普及

受講生に、この講座が有料な場合、受講するかというアンケート調査では、1名を除いて受講できないという回答があった。社会復帰を目指す女性に、まず立ちはだかるのが、自己研鑽の費用であり、本講座のような実践的なものが必要とされていることが実証された。